

# 道徳通信

令和3年10月13日  
青ブロックNo. 2



「法や決まりを守るために大切なものは何だろう」～道徳「仏の銀蔵」を通して考えました～

昔、高利貸しの銀蔵は、高い利子で金を貸して人々から取り立てをしていました。ある日、銀蔵の証文つづりをカラスが持ち去ります。証文つづりがなければ取り立てができません。借金をしていた人々はほっとしました。けれどその後、生活苦となった銀蔵を見て人々は、「盗人にはなりたくない」「お天道さまが見ている」と、借金を返し始めます。それから銀蔵は心を入れ替え、二度と高い利子を取るようなことはしませんでした。

授業では、銀蔵が証文綴りを必死に探した理由、「そうか、お天道様か！」と膝を打った銀蔵はどんなことが分かったのかについて考え、自分にとってのお天道様がどこにいるかをみんなで示し、人との違いを感じながらテーマにせまりました。

●● ●●さん

お天道様とは、心のどこかにいる存在だと思います。

●● ●●くん

お天道様とは、自分の行動を監視していて自分の味方である存在。

●● ●●くん

お天道様とは、自分悪事を見張っている人だと思った。

●● ●●さん

お天道様とは、自分自身を見守ってくれる存在だと思った。

●● ●●さん

自分ばかりの考えじゃなくて他の人のことも考えて行動するようにしたい。

●● ●●さん

銀蔵がしていることが「悪いこと」だと決めつけていたけど、よくよく考えれば商売なんだし、利子は高くつけて返した方がそりゃ自分にとっては言い訳だから、悪いことではないのかなと思った。

●● ●●くん

もし自分が銀蔵に借金をしていたら返すかどうか考えた時、返したいと思ったので借金を返してきた人たちのいうお天道様は借金をしていた人自身の善性だと思った。

●● ●●さん

正直にまっすぐ生きるのは大切だと思いました。

●● ●●くん

お天道様のいる場所は一人一人違うけど、それぞれの場所で人々を公平に見てくれているのだなと思いました。



授業の終盤に行った「あなたにとってのお天道様の場所を指で示そう」では、多くの人が天（空）を指すなか、自分の心に指をさす人がいました。その人の意見で「そうか！」と気づいた人も多かったですね。法や決まりを守らない自分についてどう思いますか？「そんな自分を許せない」と思う人もいるでしょう。自分の心の中にある正義感、善人になりたいと思う気持ちや決意などが「法や決まりを守っていくために大切なもの」と他のブロックでは出ていました。また、「どうすればいいか考える時、自分にとって良いことを提案してくれる人と自分にとって悪いことを提案してくる人が頭の中にいると思うのでその悪い考えを提案してくる人の意見に流されないこと。自分の利益の為に考えない事。」という意見が黄ブロックで出ていました。青ブロックのみなさん。他のブロックの意見から、どのように考えますか？